

マーケットの動き（2024年11月4日～11月8日）

先週の米国国債市場は、前週末比で金利は低下しました（債券価格は上昇）。週初は5日の米大統領選挙投開票を控え、持ち高調整の買いが入り米国長期金利は低下しましたが、投開票後にトランプ氏の当選が確実となるとインフレや財政悪化などのリスクを警戒した売りが優勢となり金利は上昇しました。その後、7日のFOMC（米国連邦公開市場委員会）で0.25%の利下げが決まると金利は再び低下しました。

欧州国債市場は、前週末比で金利は低下しました（債券価格は上昇）。

投資環境見通し（2024年11月）

長期金利は、米国ではレンジ内で推移、欧州（ドイツ）では低下に向かう

米国：足元の長期金利の上昇は、堅調な経済指標を受けた投資家の利下げ観測の修正とみえます。今後の長期金利は、大統領選挙後の新政権による政策運営を巡り変動率が高まる可能性があります。FRB（米国連邦準備制度理事会）が利下げを継続する姿勢が続けるとみられ、次第に落ち着きを取り戻しつつレンジ内で推移するとみえます。

欧州：ドイツにおける経済成長下振れの可能性に加えて、経済関係の強い中国の景気減速を背景に、ECB（欧州中央銀行）の利下げペースが速まるとみられる中、ドイツ長期金利は低下に向かっているとみえます。

	11月8日	変動幅（騰落率）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
10年国債利回り（米国、%） （変動幅）	4.30	▲0.08	0.28	▲0.20	▲0.22
FTSE世界国債インデックス 除く日本、円ベース（騰落率）	604.01	▲0.32%	1.18%	0.96%	7.74%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日（休日の場合は前営業日）までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202411_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

主要国国債利回りの推移

（期間：2023年10月31日～2024年11月8日）



FTSE世界国債インデックスの推移

（期間：2023年10月31日～2024年11月8日）



※2023年10月31日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成